

I 団体情報

1 基本情報

団体名	札幌丘珠空港ビル（株）		所管課 記入者	政) 空港担当課 担当 藤間 電話 211-2357	
基本財産	498,000千円		本市出資額	130,000千円	(出資割合 26.1%)
設立年月日	平成2年（1990年）5月23日		出資年月日	平成2年（1990年）5月15日	
設立・出資目的	(設立目的) 本団体は、平成2年に設立され、丘珠空港のターミナルビル機能を担い、航空事業者の安定運航や丘珠空港利用者の利便性を確保することを設立目的としている。 (出資目的) 札幌丘珠空港ターミナルビルは、道内航空網の拠点として重要な機能を有する施設であるとともに、本市の空の玄関としての公共的な性格を有する施設であり、航空事業者の安定した運航を確保するとともに、航空利用者が安心して安定的に利用できる状態を保つよう、本市と連携して取組を進めるため出資している。	沿革	平成2年 平成4年	札幌丘珠空港ビル㈱設立 現旅客ターミナルビル供用開始	
代表者	代表取締役社長（非常勤）天野 周治（副市長）				
主な出資者	① 札幌市 ④ (株)日本政策投資銀行	(26.1%) (13.1%)	② ANAホールディングス㈱ ⑤ 札幌商工会議所	(25.1%) (8.7%)	③ 北海道 ⑥ (株)北洋銀行 (13.1%) (5.0%)

2 実施事業

① 施設管理運営事業	② 物販事業
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

➡ 「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員	常勤取締役	1	0	0	0
	常勤監査役	0	0	0	0
	非常勤取締役		9		
	非常勤監査役		2		
職員	常勤管理職	0	1	1	0
	常勤一般職	0	0	3	1
	非常勤職員		8		

役員の任期		
取締役	2	年
監査役	4	年
代表権のある役員の就任年月		
取締役	R5.6	
監査役	-	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	14	
R06.4.1時点	13	

令和7年4月1日現在(単位：人)			
プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	0
20歳代	1	50歳代	2
30歳代	1	60歳代	0
平均年齢	38.8	歳	

プロパー職員の退職・採用状況(人)			
退職		採用	
定年	中途	新卒	中途
R4			
R5			1
R6		1	
R7			

補足
ターミナルビル拡張計画に伴い今後職員の補充を検討している。

...R7評価シート（R6決算）より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

4 財政状況

区 分		R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況 損益計算書 貸借対照表	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	257,146	330,525	(100.0%) (+73,379)
	営業	売上高 (a)	255,814	327,815	(+72,001)
		営業費用 (b)	246,047	317,003	(+70,956)
		うち販売費・一般管理費 (c)	117,733	135,552	(41.0%) (+17,819)
		うち人件費(d)	46,895	67,201	(20.3%) (+20,306)
	営業外	営業利益 (e)	9,767	10,813	(+1,046)
		営業外収益 (f)	1,332	2,710	(+1,378)
	当期純利益(g)		6,404	17,664	(+11,260)
	資産(h)	830,175	881,530	(+51,355)	
		流動資産(i)	348,460	427,254	(+78,794)
		固定資産(j)	481,715	454,276	(▲ 27,439)
	負債(k)	83,891	117,581	(+33,690)	
		流動負債(l)	48,608	80,551	(+31,943)
		固定負債(m)	35,283	37,030	(+1,747)
	純資産(n)	746,285	763,949	(+17,664)	
	資本金(o)	498,000	498,000	(0)	
	借入金残高(p)	0	0	(0)	

6 所管局による検証 (R6行動計画より)

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れるなど。)	<p>(1) 団体の在り方、出資の在り方 当該団体は、丘珠空港のターミナル機能を担い、航空事業者の安定運航や利用者の利便性を確保することを目的として、本市が中心となって出資・設立した団体である。その目的は現在においても維持されている。 今後も、本市と連携を密にしながら、航空事業者や利用者の利便性向上、路線拡充、利用者数拡大に向けたプロモーション、空港アクセスの改善等に取り組んでいくことが必要である。</p> <p>(2) 経営の安定性や自立を高める方策 令和5年度途中まで、プロパー社員2名という最小限の人員で事業を行っていたが、現在検討中の空港ターミナルビルの拡張計画、将来的な年齢バランスや事務の継承、非常事態への対応などを見据え、採用した若手職員の育成や更なる体制強化を行い、持続可能な組織体制を構築するよう求めていく。 また、直営物販店事業においては利用者ニーズに即した商品の充実を図り、売上増加を図るとともに、広告事業・賃貸事業については積極的な事業展開により収益を改善させるよう求めていく。</p>
--	---

7 他の政令指定都市の状況

・共用空港が設置されている政令指定都市は札幌市のみ。 ※共用空港は防衛省が滑走路を管理しており、一日の民航機の発着枠に制限があり路線運用が制約されること、空港事業者の大きな収入源となる着陸料による収益が見込めないことや、発着枠の裁量権がないことから、コンセッション等による運営が制度上想定されておらず、他の共用空港においても公共交通の一翼としての役割を果たすため、自治体が出資する団体がターミナルビルの運営を行っている。

II 事業ごとの状況

事業内容 1	施設管理運営業務	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	○	○	○	
事業内容 2	物販事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性	...R7評価シート（R6決算）より転記 ...R6具体的な行動計画より転記
		○	/	×	○	
主要事業名	札幌丘珠空港ターミナルビルの管理運営	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	航空事業者の安定的な運航を確保し、航空利用者が安心して安定的に利用できるよう、ターミナルビルの管理運営を行う。			

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①空港ビル利用施設の賃貸、賃室料	市委託料（随意契約）	3,190 (千円)
②広告宣伝業		
③航空知識の普及及び教育事業並びに空港利用の促進事業		
④物販事業		
※「札幌丘珠空港ターミナル施設基本計画検討業務」に係る補助金（令和6年度のみ）	市補助金	15,000 (千円)
		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果						
(1)事業収支 (単位：千円)			(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標
項目	R5年度	R6年度	①	イベント実施	6回	6回
収入 (経常収益比)	257,146 (+100.0%)	330,525 (+100.0%)	②			9回
市補助金・交付金・負担金	0	15,000	③			
市業務委託料	4,015	3,190	④			
市指定管理費	0	0	⑤			
市施設利用料金収入	0	0	(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標
自主事業収入（補助金除く）	251,799	309,625	①	丘珠空港利用旅客数	439,000人	557,000人
その他収入	1,332	2,710	②	イベント実施来場者数	12,121人	12,200人
項目	R5年度	R6年度	③	団体見学者数	1,709人	1,710人
費用（支出）	246,071	317,003	④			1,373人
事業費	81,420	114,250	⑤			
管理費等	164,651	202,753	3.所管局による評価		R6年度実績	
項目	R5年度	R6年度	事業目的に対して事業の効果は		△十分出ている	■高める余地あり
収支差	11,075	13,522	□出でていない			
収支比率	104.50%	104.27%	令和6年度の旅客数は、定期路線の新規就航や増便などに伴い、現空港ターミナルビル開業以来最多の57万人を数えた。			
			空港利用者数は順調に伸びているものの、本市が令和4年度に策定した「丘珠空港の将来像」で想定している将来の年間旅客数100万人を見据え、航空会社に対する新規路線の誘致や、既存路線の積極的なプロモーション活動など、さらなる利用促進に取り組み、新たな需要の創出を行う必要がある。			

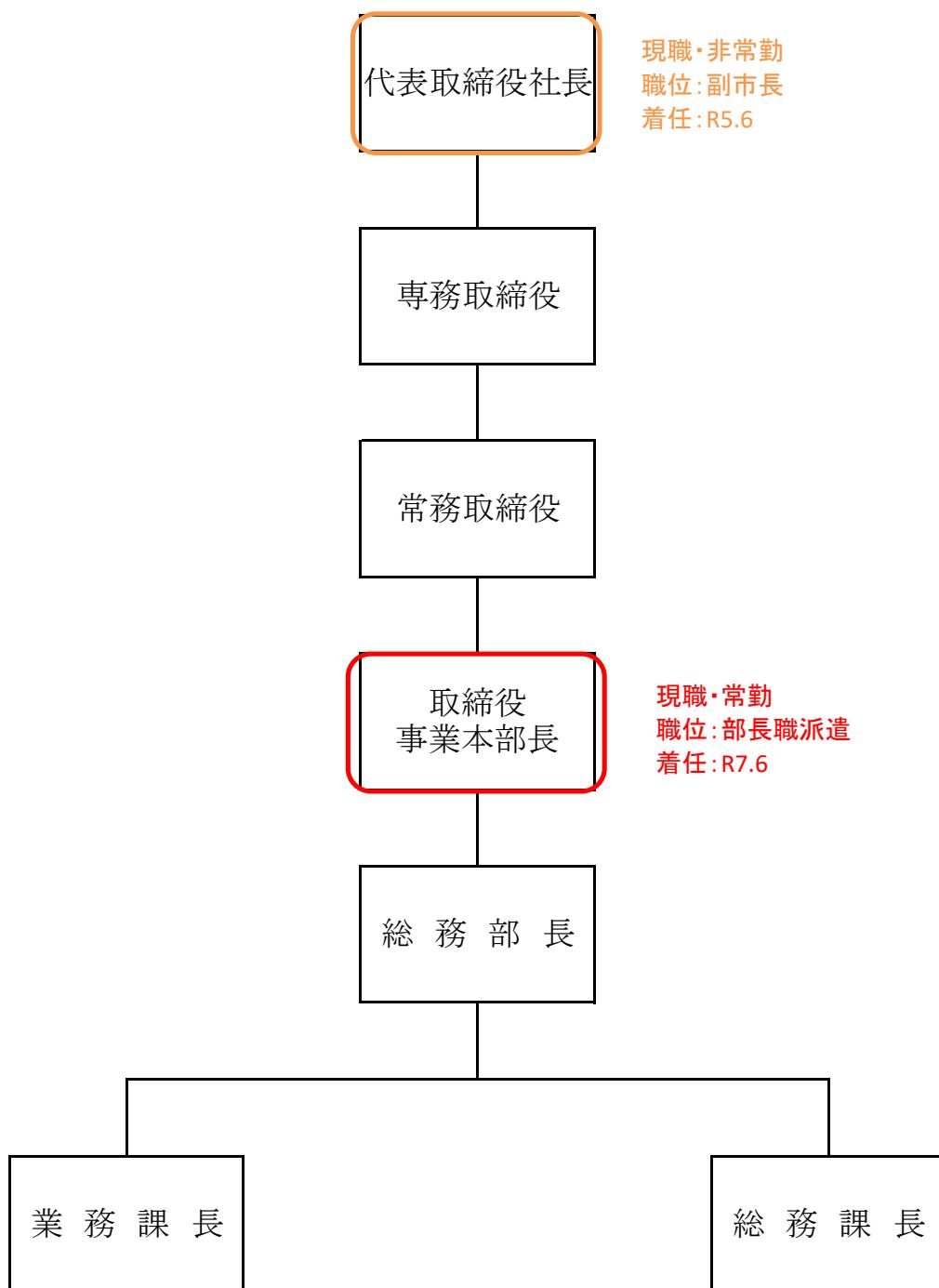
III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	R0.○		(R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください)
現職	非常勤役員	代表取締役社長	副市長	R5.6		
現職	非常勤役員	取締役	局長職	R7.6		
現職	常勤役員	取締役／事業本部長	部長職	R7.6	同社の指揮、経営改善及び札幌市との連絡調整	丘珠空港は、道内航空ネットワークの拠点空港、道外とも路線を有し地域の活力を高めるための交流基盤となる交通結節点、医療や災害時の拠点空港等の役割を担っており、丘珠空港ビル㈱は国・関係者との調整を行いながら、空港ターミナルビルを所有・管理・運営している。 「丘珠空港の将来像」の実現に向け、現行施設の円滑な運用と滑走路延伸を見据えた新ターミナルビルの拡張計画等を並行して進めていく必要があり、札幌丘珠空港ビル㈱には、旅客増に伴う混雑緩和や新ターミナルの要件整理といった課題への積極的な取組と、国・札幌市の検討に応じた迅速かつ柔軟な対応が求められている。札幌市は札幌丘珠空港ビル㈱の筆頭株主として経営に一定の関与をしているものの、2030年を目標年次に据えた滑走路延伸に向けた変革期においては、日常の営業に主体を置いた体制ではなく、将来像の実現に沿ったターミナル拡張を公共性の担保の視点を持ちながら進めるために、現場をマネジメント、統率できる札幌市からの部長職の人的援助が必要である。

札幌丘珠空港ビル株式会社

組 織 図



札幌丘珠空港ビル株式会社役員名簿

役職名	氏名	団体・会社名及び役職名
代表取締役社長	天野周治	札幌市副市長
取締役	石田真樹	
同	稲垣幸直	札幌市まちづくり政策局都市計画担当局長
同	藤嶋泰道	北海道総合政策部航空港湾局長
同	酒井武知	(株)日本政策投資銀行 北海道支店次長
同	水落隆志	札幌商工会議所 常務理事
同	権平宗中	(株)北洋銀行 執行役員公金・地域産業支援部長
同	平川昌之	(株)北海道銀行 常務執行役員 本店法人営業部本店長
同	小林剛史	北海道電力(株) 代表取締役 副社長執行役員
同	八木涉	北海道瓦斯(株) 常務執行役員 総務人事部長
監査役	高野一夫	高野公認会計士事務所 公認会計士 税理士
同	田村亨	室蘭工業大学 名誉教授